

◎平出水への
集団学童疎開

上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一 編集
連絡先090-9579-3953
上西校区長責任発行

大口平出水への集団学童疎開を語る

第4回 安藤正直さん（89歳）



77年前の夏も今年と同じように暑い夏だったことでしょう。
花里崎の安藤正直さんを訪れて
集団学童疎開のことを
取材しました。

当時小学6年生

集団学童疎開にはどんな思いで出発したのですか？

たちばな丸ちゅう船が港（旧港）におつて、大人二人がはしけの櫓をこいでおいなんどーば、たちばな丸に乗せたどや。妹と二人やったばつて、別れんときーにゃあ、周りん女人衆は泣あてなあ。おいも泣きやーせんにゃつたばつて、やっぱい涙は出たや。

受け入れ家庭での生活のようすは？

池松さんちゅうおじさんから「あたいは、こん子を連れて行こかいな、体が太かから。馬の草も食わせんばやから」ちゅうて連れて行かれたどや。妹は隣の家やった。潮辺ちゅうところは田んぼばつかいで、米のご飯ばつかいやつたろ。横山ん衆は終戦後は共同生活したばつて、理由は分からんばつて花里崎ん衆は最後まで白かご飯でありがたかつたなあ。

妹は百日ぜきでや。咳込一だいば、怖しかぐらい地べた一

ころ転一で。おいは隣に走つて行つて背中をさすつたい、叩あたいしたろ。治つて、戻つて来たや。

平出水小学校の児童との生活のようすは？

言葉が違一ろ一が。「わいだ一、なんごて一よ」ちゅうて、はが合わんじ一な。ケンカしたどや。花里崎ん衆は花里崎ん衆で遊一だ。

自宅に無事に帰り着いた時、どんな声をかけてもらいましたか？

家に戻つて来たいば、ちようどばあさんの葬式でけな一ん衆が集まつつた。親から「よう、戻つてきたな一」ちゅうて抱きしめてもろ一ちゅうことはなかつたなあ。

上西の集落で、共同生活と受け入れ家庭での生活とに違いがあつたことを初めて知りました。

次回も集団学童疎開の話題をお伝えします。



平出水校区

伊佐市

旧大口市
旧菱刈町

鹿児島市

西之表市

鹿児島市からは汽車です。大口市山野駅に着き、夜中にそこから平出水まで徒歩でした。

昭和16年

12月8日

日本軍が真珠湾を攻撃。太平洋戦争が始まる。

昭和19年

7月17日

種子島内学童疎開計画が成る。

昭和20年

3月18日

グラマン機やB29がこの日以降7月25日まで11回も襲撃
死亡者11人、負傷者25人

疎開記念樹のソテツ



4月

疎開開始
(小2～小6 上西小155名)

平出水小学校で

10月

疎开学童が帰島する。

資料：戦後70年学童疎開記念誌「つなぐ」